

地方連携推進室のキャラクター紹介

ちれんすずめ

2012年6月
地方連携推進室

「グローバル通信 4月号」にて鮮烈にデビューを飾ったちれんすずめですが、その後キャラクターを詳しく紹介する機会がありませんでした。このたび、読者の方から、「その後、ちれんすずめは登場しませんが、また登場しますか？」とのご質問を受けて、ちれんすずめを紹介する記事を掲載することにしました。



1 キャラクター誕生のいきさつ

以前から、地方連携推進室の窓辺には、すずめ(本物)が遊びにやって来ていました。特に毎年春には、地方連携推進室の窓辺付近に、すずめが巣作りをする様子が観察されていました。春先に、小枝や羽毛をくわえたすずめが頻繁に飛び交う姿や、雛鳥がチーチー鳴く声が聞かれています。また、無事に巣立った雛鳥が、親鳥に甘えている姿も見られ、すずめの子育てが地方連携推進室員の日常風景ともなり、気持ちを和ませてくれています。

このすずめたちは、地方連携推進室の省略形「地連(ちれん)」にちなんで、いつからか、「ちれんすずめ」と呼ばれるようになりました。そして、IT技術の才能あふれる室員(当時)Mさんが、ちれんすずめのキャラクターを考案すると、地方連携推進室のキャラクターにしようとの声が挙がりました。

2 ちれんすずめのキャラクター

ちれんすずめのキャラクターを詳細に紹介します。

名前: ちれんすずめ

生まれたところ: 外務省 地方連携推進室

性別: 不明

誕生日: 2012年2月29日

性格: まじめでひたむき。同時に、楽しいことが大好き。甘党。

仕事: 地方連携推進室のアドバイザーとして、外務省の地方連携事業を多面的にサポートしています。

ポーズ: ちれんすずめには次の3つのポーズがあります。

① 黄色い旗を持つちれんすずめ：地方連携推進室員は年2～3回、駐日外交団や領事団を地方視察に案内しています。外交団や領事団の皆様が、たとえば混雑した駅舎や複合施設の中などで、迷子にならないように、時にちれんすずめは黄色い旗を持って引率します。

② 鞆を抱えて旅立つちれんすずめ：会議への出席や地方自治体の皆様との意見交換のために、地方連携推進室員が地方に出張するとき、ちれんすずめは大きな鞆を抱えてお供します。

③ 仕事に追われるちれんすずめ：地方連携推進室員は主催事業の前は準備に追われて残業が立て込むこともあります。ちれんすずめも書類を仕分けたり、資料を作成したり、残業して手伝います。



3 ちれんすずめの近況報告

今年の春も、ちれんすずめたちは、地方連携推進室の窓辺で無事に子育てを終えて家族を増やしました。連休前後に孵化したすずめの雛鳥は、5月いっぱい巣から元気に鳴いて親鳥からえさをもらっていましたが、その雛鳥も巣立ちを迎え、今巣はからっぽです。ちれんすずめたちは、親鳥に甘える雛鳥も大きく育て、今地方連携推進室の窓辺で元気に飛び跳ねています。

4 最後に～全国のキャラクターへの応援

日本全国の自治体では、自治体をPRする豊富な種類のキャラクターが大活躍していますが、ちれんすずめは全国のキャラクターの皆様の活躍を応援しています。

都道府県のキャラクターで昨年ランキング1位になった熊本県くまモンに、ちれんすずめは先日電話をかけました。

驚いたことに、くまモンはこの夏、中国に進出予定との話が飛び込んできました。

ちれんすずめは、くまモンのように、全国の魅力的なキャラクターが、海外に進出して、世界の人々に親しまれるようになり、自治体の海外PRに大いに貢献されることを祈っています。